

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日に小学校6年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。この結果をもとに本校でも指導の在り方を振り返り、今後の改善を図ります。

1 教科結果から

本校の対象児童はごく少数ですので、本校の平均点を個人情報視点から、残念ながら数値をお伝えすることができません。が、おおむね定着しています。本校独自での通過率の講評は控え、安芸太田町及び広島県についてのみ公表とさせていただきます概要の報告とさせていただきます。

全国学力・学習状況調査

平均正答率	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
安芸太田町	70	56	66	53	70
広島県	73	59	66	54	63

2 さらなるレベルアップのために

教科における課題から

国語 問題から分かることを条件に合わせて書きかえる力に課題がみられました。そこで、条件を与えて書く学習を多く取り入れていきます。例えばテーマ作文を書いたり、段落の構成や字数の条件を与えたりして、書く学習にしっかりと取り組んでいきます。また、文章を読んで要点を捉え、自分の考えをまとめる力にも課題がみられました。そこで、本や文章などを選んで効果的に読む学習に取り組めます。

算数 問題の解き方を表す文章を、式にすることに課題がみられました。そこで、授業の中で、図を使って問題を解いたり、説明したりする学習を多く取り入れていきます。また、数字や式、答えの意味などを友達に分かりやすく説明できるようにしていきます。

理科 実験結果を分析して考え、導き出された結論を書く力に課題が見られました。そこで、実験で分かったことから根拠を明らかにして、まとめて書く学習に取り組んでいきます。

3 生活と学習に関する調査から

宿題の習慣は、定着しつつありますが、自分で予習や復習をしたり、テスト勉強などの自学自習をしたりすることは、あまりないようです。そこで、学年に応じて自学自習の仕方を学級で指導し、学力補充の時間や家庭学習で自分の苦手なところを学習するよう取り組んでいきます。

学校として、授業改善をし、自ら課題を発見し、学ぼうとする意欲を育てていくとともに、家庭と連携を図り、さらなる充実を図っていきたく思います。